

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月 28日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県桑名市多度町御衣野2000番地

氏名 ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン株式会社

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-48-5512

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン株式会社 三重工場
事業場の所在地	三重県桑名市多度町御衣野2000番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E28 製造業/ 電子部品・デバイス・電子回路製造業
② 事業の規模	製造品出荷額：729億円
③ 従業員数	1160名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	LSI(半導体集積回路)の製造に伴い、シリコンウエーハの基板上に光学写真技術によって微細な素子や配線などパターンニングして作り込む作業を繰り返し行なう。これらのウエーハプロセス製造工程に伴い、種々の薬品(酸・アルカリ・有機溶剤など)・ガスをを用い製造を行なう過程において種々の産業廃棄物が発生するものである。具体的には、排水処理で発生する污泥。ウエーハの加工・洗浄の工程で発生する廃酸・廃アルカリ・廃油、原動部門他の工場操業に付随して発生する廃プラ・金属くず・ガラスくずの発生が挙げられる。 なお、当工場から発生する代表的な廃棄物を「別紙のとおり(産業廃棄物の一連の処理の行程)」に記載する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
半導体製造を行なう製造部の他、開発部門、製造装置のメンテナンス部門、原動部門などの組織がある。また、産業廃棄物の管理及び削減(有価物転換)に向け、施設部環境管理課が環境部門の窓口となり対応している。
また、2014年度より電子マニフェストを導入し、紙から電子への切り替えを完了。この電子マニフェストの運用・管理は、施設部環境管理課が対応している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組) 昨年度の計画通りに、発泡スチロールの溶融装置を導入し、溶融したインゴットの有価売却、および、運搬によるCO2排出量削減を実行。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組) 産業廃棄物の発生量削減の一環として、今後も有価物転換に向け取り組んでいく。 今年度は、プラスチック判別装置を導入し未判別 発泡スチロールを削減。更なる発泡スチロールの溶融インゴット化(有価売却)を促進。 新規廃溶剤の有価売却にむけて委託先との協議を開始。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 産業廃棄物の種類として、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、金属くず、ガラスくず、木くず。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 処分過程での工程の違いにより、雑プラスチック類を軟質系と硬質系で分別回収する必要がある為、廃棄シールの変更や一時保管場所等の準備を開始。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
無し。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
無し。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
無し。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
無し。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
無し。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)	
三重県条例に基づき委託先の定期監査(年1回の頻度)を実施。優良認定業者の監査は、間接的な手法を適用し調査票を用いた書面審査を実施。非優良認定業者は、実地監査を実施。なお、調査票及び実地監査は報告書を作成し監査記録として残している。また、優良・非優良認定業者に関わらず、新規産廃委託先候補には実地監査を都度行い、新規委託に問題が無いことを確認している。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
	(今後実施する予定の取組)	
	優良認定業者の定期監査は、間接的な手法を適用し調査票を用いた書面審査を実施。但し、調査票だけでは委託先が抱える諸問題の発見が遅れるリスクあることから、5年に一度は実地監査を実施する[実地監査頻度の変更]。また、前年の調査票回答内容と実地監査時の差異を検証し、問題等があれば改善を図る。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います
 } 記入不要です

項目		廃棄物の種類																				合計量 (t)		
		ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	22184	22	8	133	99	0	14	15	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	22477
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	19716	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19716
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	2440	22	8	133	99	0	14	15	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2733
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標	0	2278	22	8	133	18	0	14	15	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2490
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標	0	2395	22	8	133	87	0	14	11	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2672
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
	今年度目標	0	44	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第2号の9)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。記入しても差し支えありませんが、その際は、様式第2号の9 別紙2の報告数値と一致していることを確認してください。
 (参考) 各項目の白抜き番号は、様式第2号の9 別紙2の項目番号です。